

佐藤 博 議員 無所属クラブ

市長出前講座の結果を どのように認識しているか

問

(1) 私は、行政運営の中で一番大事なことは、是非は是非を確認し合い、市民の理解と協力を得て、将来に禍根を残さない方法でベストな新庁舎ができるだけ早く建設できるように考えている。そつという観点から、出前講座に期待していた。新庁舎建設問題は基本設計図配布後3年を経過したが進展していない。訴訟問題に至った最大の問題点、用地取得交渉の難航、失態の経過の説明がない。こうした現状を市民に理解されたと認識しているのか。

(2) 用地交渉は最初に職員ではなく市長自ら地主に協力要請していればこのように難航していないと思う。27年度予算も再び繰越明許するのか。このまま続け

ると行政不信に繋がると考える、庁舎に関し市民の意向調査をすべきでは。

(3) 議会での協議が進んでいない中、しかも十四山・白鳥学区の出前講座のみで、市制10周年記念事業に総合運動公園（サッカー場）があつたと聞くが事実か。

限られた時間の中で誠意を持って説明させていただいた

答 市長

(1) 参加市民には新庁舎建設に対する経緯は理解いただいたと思つている。

(2) 用地取得は、極めて重要であると認識している。今回も最初に挨拶し、途中からだが、出向いて何度か話し合いをしている。

答 副市長

(2) 愛知県の事業認可がおりない段階で契約をす

とは、土地の提供者に対する税の特別控除などが無くなるため、土地取得契約は事業認可後に行う。

答 市長

(3) 議会でも数回話をし、第1次総合計画後期基本計画の中でも記載している。

弥富市総合戦略推進会議 の人選方法は適材適所か

問

(1) 市総合戦略推進会議の①目的、②戦略内容、③委員の選任基準、選任方法は、

(2) 委員名簿を見るとあて職中心である。本市には、県の部長職・行政経験が豊かな有能な人材があり、学識経験としてこのような人材を適材適所で選任すべきと考えるが市長の見解は。

産学官教のさまざまな 分野から選任している

答 総務部長

(1) ①人口ビジョン及び総合戦略の策定に関する事項、総合戦略の検証に関する事項の2つのほかに、市長が

必要と認める事項を審議するためである。②安定した雇用を創出、新しい人の流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するといった内容である。③住民の代表者、産業界、教育機関、金融機関の各関係者、学識経験者、その他市長が必要と認める者である。

答 市長

(2) 産学官教のさまざまな分野からお願いをしている。

地方創生（人口・土地活用、企業誘致など）に関連した政策を

問

(1) 人と働く場をどう結びつけていくか、さらに本市に住み、本市で働ける体制をしっかりとつくっていく政策を考えるべきである。その中で市民の①市内で就業する人数、②市外で就業する人数、③市外から市内で就業する人数の現状は。

(2) 本市で最も遅れているのは土地の有効活用である。西部臨海工業地帯などの順調な税収に甘えていては他市に負けてしまう。本市が目指す人口問題の具体的対策は。

戦略に沿った施策を 展開していきたい

答 商工観光課長

(1) 22年国勢調査を参考に15歳以上人口の常住地または、従業地・通学地による就業者・通学者数によると、

①自宅での従業は2千559名、自宅外は6千584名。②市外就業・通学人口は1万4千74名。

③市外から市内に就業・通学人口は1万1千688名。

答 総務部長

(2) これまでの子育て施策、さらに子育て世代や若者の呼び込みができる施策の推進、また、駅周辺整備、地場産業、農業の担い手の育成、企業誘致の推進などである。